



宮内 英明 議員

市内小中高体育館および公共施設のつり天井撤去について

市内小中高体育館および武道場、その他の公共施設の天井の形状確認、また、振れ止め対策が必要な対象物件について、現状把握している件数と現状は。

答 教育部長

小学校体育館4館、中学校体育館1館、社会体育施設の体育館1館・プール1棟、公民館3館、

文化ホール3館です。破損等の問題はありませんが、体育館の天井は撤去が、社会教育施設や文化ホールは、振れ止め防止対策が必要と考えます。

問 工事費および職員の業務の負担増は。

答 学校体育館の天井撤去工事は、300万から600万と試算していま



学校体育館のつり天井

業務負担増については、適切な人員配置が必要と考えます。

問 市内公共施設は。

答 総務部長

今後、点検を実施し、平成27年度までに対策を講じてまいります。

県の検討組織による滋賀交通ビジョン(案)の答申について

問 県は、高島市の地域交通や広域交通について、高島市民を置き去りにして議論しているのでは。

答 土木交通部長

検討組織である交通ビジョン懇話会において、市内の各種団体からの意見や、市民アンケート調査での意見を、議論に反映していただいております。

問 琵琶湖若狭湾快速鉄道について、福井県側と協議することになってい

るが、状況は。必要や鉄道運営の採算性等の課題について、引き続き関係自治体と連携し、議論・検討を重ねていきます。

問 鯖街道を基本にした、小浜インターから京都高速道路を結ぶ、朽木経由の若狭高島高速道路の将来構想について伺

答 広域交通基盤の整備は必要不可欠ですが、まずは災害時の避難道路・緊急輸送道路として、国道161号・303号・367号の整備促進が急務と考えます。

問 道路網整備について、老朽化した地方道の橋やトンネルを国が改修する改正道路法について伺う。

答 国交省に確認しましたところ、政令で定める対象となる施設等については、現在検討中のご

問 今後の具体的な動きと方向性は。

答 教育委員が学校を訪問し、現状把握に努めています。これを基に適

問 検査結果は。

答 これまでの懇話会やアンケート結果から、統廃合の必要性を感じています。



青谷 章 議員

小学校の統廃合および小中一貫教育について

マキノ地域の小学校統廃合問題について伺います。

問 今日までの経緯は。

答 教育部長

統廃合に係る検討は合併前から進められており、平成20年の関係者協議では、4小学校の統廃合が必要な時期に来ていたとの意見が多数を占めました。

問 検討結果は。

答 これまでの懇話会やアンケート結果から、統廃合の必要性を感じています。

問 今後の具体的な動きと方向性は。

答 教育委員が学校を訪問し、現状把握に努めています。これを基に適切な学校規模を考えながら、方向性を示していき

小中一貫教育について伺います。

問 開校4年目を迎える小中一貫校である高島学園の現状は。

答 学園参観日等で保護者や地域の方の理解は深まっており、小中一貫校としての指導体制が確立してきています。

問 高島学園における小中一貫校の良い点と課題、その対策は。

答 良い点は、中学校への移行がスムーズにできることです。一方、小中学校間の日課や時間割の調整が課題となっているため、コーディネーターや小中一貫教育担当者を中心に、計画的な時間設定を図っています。

問 新たな小中一貫校の推進は、どのように考えるか。

答 学校統廃合とは切り離して考えていますが、1中学校区に、1小学校と中学校が隣接した場合は、小中一貫校の開校を検討します。

問 市内で現在行われている施設分離型の小中一貫教育の、現状と今後の取り組みは。

答 合同研修会や合同学習会による小小連携を実施してきました。今後ともさらに充実した小中一貫教育の推進に努めます。

問 市内の小規模小学校の、今後の対策と方向性は。統



小中一貫教育校「高島学園」

廃合についての市長の考えを伺う。

答 市長

何よりも大切なことは、子どもたちが個性豊かに生きる力を育むことであり、そうした環境を整えることは、行政を預かる者の責任です。地域・保護者の皆様からご意見をいただきながら、教育環境を整えたいと思います。

響庭野演習場周辺住宅防音工事について



吹田 薫 議員

問 平成25年度も約60戸の工事が実施されますが、国の補助金交付要綱での助成基準と施工部分に矛盾が多々あります。どこまで解消できたか伺います。

答 政策部長

市内の設計事務所や工事施工業者の皆様が近畿中部防衛局との意見交換会の機会を持たれました。制度上において対応が不可能なことや、防衛省・他の演習場との調整が必要なこともありますが、事業の実施に際しては個々の家屋の建築状況を見極め、設計事務所との調整を図りながら、工事を進められると理解しています。

小規模工事等契約事業者の受注について



介護老人保健施設「陽光の里」

支所での10万円から30万円までの受注業者の偏りはないですか。

答 総務部長

昨年度導入いたしました小規模工事等契約登録事業者による実施状況を分析しましたところ、各支所管内における登録業者数と登録工種の違いや、市が発注を必要とする工事内容による影響が見られるものの、偏りや隔たりはないと考えてお

介護老人保健施設「陽光の里」の利用状況について

ります。

問 要支援・要介護認定者数の増加に伴い、「陽光の里」への入所・通所希望者が増えると思えます。待機者数は、改築後どれくらい改善されましたか。また、稼働率は何%ですか。

答 健康福祉部長

改築後の待機数については、現在入所を希望されている方は、早期希望者が17人、冬季限定の入所希望者が18人、他の老健等施設入所者で転出先として入所を希望されている方が54人、高島市民病院等医療機関に入院中で、病状が安定した際に入所を希望されている方が28人おられます。また、現在の稼働率は80%であり、入所受け入れ計画をほぼ達成しており、今後は稼働率90%を目指します。